



當山 達彦 議員

台風6号の被害について

質 台風6号被害で人的被害はありましたか。

答 総務課長(宮平 寛)

2名の方が緊急搬送されています。

質 建物の被害はどうでしたか。

答 総務課長(宮平 寛)

床下浸水が2件、木造屋根の損壊が1件、トタン屋根の一部損壊、雨漏りがあり、罹災証明は2件発行しています。

質 罹災証明を発行した2件の実質調査は専門家を交えて行ったのか。

答 総務課長(宮平 寛)

写真で即判断できる内容となっており専門家も踏まえた調査は行っていません。

質 農水産物の被害状況を伺う。

答 総務課長(宮平 寛)

農作物はほぼ全ての品目で発生しており、パイプハウス、平張り施設で被覆資材の破損、骨組みの破損もありました。水産物は海ブドウの養殖施設の屋根の破損で水槽への雨水の流入と、停電のエアポンプ停止による品質の低下がありました。

質 被害に対する村からの助成はあるのか。

答 農林水産課長(平安名 盛常)

被災農家への支援は、9月から12月分の被覆材の購入分に限り補助率を30%に引き上げたい。水産業の海ブドウは養殖を対象とした保険制度では対象外となっているが他の養殖水産物と同様な支援が受けられるよう県に働きかけたい。

質 高波による被害状況はどうでしたか。

答 建設課長(屋良 朝也)

谷茶海岸で高波による国道への越波を確認しています。

質 高波の被害は今回の台風だけではなく長年にわたっていますか村はどのような対策を検討しているのか。

答 建設課長(屋良 朝也)

早急に護岸整備が必要と考えています。

質 村長の見解を伺う。

答 村長(長浜 善巳)

私も現場を確認しており、大変危険な状態でした。県へ状況を説明し早期に開始するよう強く要請したい。

質 避難所の設置場所や利用状況を伺う。

答 総務課長(宮平 寛)

避難所は3か所、利用状況は12世帯30名です。

質 老人のみの世帯などへの避難呼びかけは行ったか。

答 福祉課長(石川 司)

避難支援を要する名簿は作成されており訪問や電話確認を30名ほど行いました。避難支援を要する個別支援計画は策定中です。

防災について

質 定期的に避難訓練を行っている自治会があるのか伺う。

答 総務課長(宮平 寛)

名嘉真、安富祖、瀬良垣、太田、塩屋です。

質 避難場所として事業所と使用協定を結んでいますか。

答 総務課長(宮平 寛)

こちら行っていません。今後のOISTの整備に伴う整備増強等の有無も踏まえて関係各所と意見交換を行っていきたいと考えています。
答 総務課長(宮平 寛)
現時点では指定避難所の発電設備の優先的設備に向けて検討を進めています。直接ホテルへの補助は、今現在は検討していません。

発電機の設置について

質 近年熱中症による死亡者数や緊急搬送者数は著しく増加傾向にあり、災害時の避難所生活が長期化し、熱中症の発生も危惧されます。避難所一施設を賄えるほどの発電機の設置が必要です。今後の対応について伺う。
答 総務課長(宮平 寛)
熱中症の危険性というのは大分高まると思っています。一施設を賄えるだけの発電施設をということと、どれぐらいの規模が必要なのか、どれぐらいの費用がかかるのか、今後調整していきたいと思っています。

提 避難所や備蓄庫はもちろん、停電対策など災害に強い社会が進められています。避難所への発電機設置に向けての取り組みをお願いします。

観光新税について

質 県は、宿泊税として創設予定と聞いているが、県や村での取り組み状況について伺う。

答 商工観光課長(親泊 誠)

総務省から県と村で十分な調整をした上で取り組みの助言がありましたので、それらの市町村とも意見交換を重ね導入に向けて取り組んでいく予定です。

質 宿泊税だと宿泊施設だけが課税対象となり、観光施設等の観光関連業者と著しく不公平、不平等になるが、村の見解を伺う。
答 商工観光課長(親泊 誠)

恩納村観光審議会におきまして、法定目的税の課税客体について検討されており、村としても審議会から提言を受け、宿泊行為を課税客体とすることが適当であると考えています。



電力の安定供給について



新城 哲 議員

質 県内でも地域によって雨、風による停電、冠水、土砂災害、高潮による浸水など被害はそれぞれで農業、林業、水産業と生産者にも大きな被害を与えています。それだけでなく観光などにも被害があり、日常生活に影響があるうえに経済へのダメージも深刻なものとなっています。取り組まなければならぬ課題は多くあります。台風6号により村内において1週間近く停電したところもあり、なぜ恩納村が長期にわたるのかその原因と今後の対策について伺う。

答 総務課長(宮平 寛)

停電の原因については沖縄電力の資料によると、樹木接触等による被害が上位を占め、今後樹木の事前伐採とかをすることによって停電の未然防

質 電線等の配線施設の老朽化が見られるが、修繕や交換の状況について伺う。
答 総務課長(宮平 寛)
老朽化している施設等があるのであれば、沖縄電力とも情報を共有しながら早めに修繕に向けて調整できればと思います。

質 恩納村をモデルとしてOISTと協力して直流電装や地中化送電の事業を早めに進められないか。また集落や近隣住民が避難所として活用できるホテル等への自家発電機の補助はできないか伺う。
答 企画課長(喜久山 隆)

OIST専用の線を違う方向から2系統引き込んでいて、一方が切れても一方がバックアップするという停電がしにくいシステムになっています。直流送電や地中化送電については現在のと



質 津波発生時、消防はどのようなルートで救助に向かうのか検討しましたか。
答 総務課長(宮平 寛)
津波発生時の初動は厳しいと認識しているが具体的な検討は行っていません。

質 バイパスへ抜けるルートを整備する必要があると思いますが村の見解を伺う。
答 総務課長(宮平 寛)

地形的なところも含め消防、自衛隊の方と今後、協議できればと思います。